

○「農業懇談会 今後の活動に向けて整理」

(京都府宮津市 日ヶ谷地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月22日(月) 17:00~19:00
- 場 所: 日ヶ谷地区連絡会議
- 出 席 者: 石田委員、荻野推進委員
協力員4人、市1人、事務局2人
※委員2人、委員以外7人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 若者が農業に興味をもっておらず、協力が得られない。高齢化に伴い、共同作業の負担が大きくなっている
- 水路整備は、耕作者以外の支援を受けている
- 栽培は、自家用・縁故米、加工味噌材料、チソ栽培(1人)、ハウス採種(1人)

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会
 - ・主たる担い手3人
 - ・営農組織の維持が課題
 - ・地域の農業に対する関心が薄い
 - ・若い人手がない
 - ・自家消費用の農地は守れるが住環境が守れない
 - ・加工グループの活動は活発である
 - ・通作している新規就農者がいる
 - ・移住促進を(次回への提案)
 - ・多面的、中山間事業の継続
 - ・営農組合の継続(将来の隣接法人との連携)
 - ・味工房の継続(材料の地元産確保)
 - ・地域特産の栽培
 - ・近隣地域との連携
 - ・移住受入環境整備
- 利用状況調査(農業委員会事務局から説明) ※7/30に合同調査実施



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援